

LAMPIRAN

Perayaan Ullambana Sutra di Vihara Tanda Bhakti, jalan Kelenteng, Bandung

9 Agustus 2010



Universitas Kristen Maranatha

Perayaan Ullambana Sutra di Rumah Penulis

21 Agustus 2010



Uang Neraka



Kimcua



Buncua



Uang Neraka

『仏の説かれた盂蘭盆経』

西晋月氏の三蔵竺法護が訳したこのように聞いた。ある時釈尊は舍衛国の祇樹給孤独園におられた。目連は初めて六神通を得たので養育してくれた父母の恩に報いるために父母をさとりの世界に導こうと欲した。そこで不思議な眼力をもって世界を見渡したところ、亡き母が餓鬼の世界に落ちて飲むことも食べることもできず骨と皮だけが立っているような状態であるのを見た。目連は哀れに思い、鉢に飯を盛って母のもとに送った。母は鉢を得て、左手で鉢を覆い右手で飯を丸めて食べようとしたが、口に入る前に燃え上がり炭となってしまい、食べるができなかった。目連はおおいに泣き叫び釈尊のところへ走って行き事の次第を説明した。釈尊が言われた。「汝の母は罪が深く、汝釈尊が言われた。「汝の母は罪が深く、汝一人の力ではどうしようもない。汝の孝順の聲が天地を動かそうとも、天地の神、邪魔、外道、道士、四天王の神々でさえどうしようもない。十方の僧たちの偉大な力をかりれば解脱することができるであろう。私はこれから汝に救済の方法を説き、すべての苦悩と罪障を除かせよう」。釈尊は目連に言われた。「十方の僧たちが七月十五日に研修合宿の最終日を迎える。その時、七世の父母と現在の父母で災難に苦しんでいる者のために、百味の食事と五種の果実とを盆器に汲みそそぎ、香油・蠟燭・敷物・臥具などは世間の最高のものをそろえて盆の中に入れて十方の大徳の僧たちに供養しなさい。まさにこの日は、すべての聖者たちが山間で禅定し、或いは四種のさとりに達し、或いは樹木の下を静かに歩み、或いは六種の神通力で自在に仏弟子たちを教化し、或いは十地の菩薩が修行者に姿をかえ、人々の間で皆が心をつにして施しの食事を受ける日なのだ。清浄戒を保つ聖者たちの徳は広く大きい。これら研修合宿最終日の僧たちに供養するならば、現在の父母から七世の父母、六種の親族にいたるまで三途の苦から脱出することができ、その瞬間に解脱し衣食が自由

自在となる。もしまた父母が健在の場合は福楽が百年に及び、もし死亡しているならば七世の父母は天に生まれかわり、自由に天華光に生まれ、無量の快樂を得るであろう」。その時釈尊は十方の僧たちに命じた。「皆まず施主の家の七代の父母ために祈願し、禪定して心を正した後に食を受けなさい。盆器を受けた時は、まず仏塔の前に安置し、僧たちは祈願をし終えて食を受けなさい」その時、目連比丘および大勢の菩薩の集団は皆大いに歡喜し、目連の悲しみ嘆く声はたちまちに消え去ってしまった。そして目連の母は即日永い餓鬼の苦しみから脱出することができた。その時目連は再び釈尊に質問した。「現在の仏弟子たちの父母は三宝の功德の力を蒙ることができます。僧たちの不思議な力のおかげです。もし未来世のすべての仏弟子たちも、孝順な者がこうして盂蘭盆をたてまつるならば現在の父母から七世の父母までが救済されるのでしょうか」。釈尊が言われた。「大変よい質問だ。私がまさに説こうと思っていたことを汝が今また質問してくれた。善き人々よ、たとえば比丘、比丘尼、国王、太子、王子、大臣、宰相、三公、百官、万民、庶民にいたるまで、孝行をおこなう者は皆現在の父母から過去七世の父母のために七月十五日、仏が歡喜する日、僧たちの研修合宿最終日に百味の飲食を盂蘭盆の中に安置し十方の研修合宿終了の僧たちに施しなさい。現在の父母については寿命が百歳まで無病であり一切の苦惱の患いがなく、また七世の父母にいたるまで餓鬼の苦しみから離れ天界に生まれ極まりのない福楽を得るように祈念してもらいなさい」。

釈尊は、善き人々善き子女たちに告げられた。「ここにいる仏弟子たちで孝順をなす者はまさに一刻一刻常に父母のことを憶い七世の父母にいたるまで供養しなさい。そして毎年七月十五日には常に孝順をもって自分を生んでくれた父母から七世の父母にいたるまでを憶い、盂蘭盆を作って仏と僧に施しなさい。それによって父母の養育慈愛の恩に報いなさい。若しくはす

べての仏弟子はこの教えを保ちなさい」。その時目連比丘と出家在家の男女
たちは釈尊の説かれる教えを聞き歓喜して実行した。仏の説かれた盂蘭盆経。

佛說盂蘭盆經

西晉三藏法師竺法護 譯

聞如是：

一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園。大目犍連始得六通，欲度父母，報乳哺之恩。即以道眼觀視世間，見其亡母生餓鬼中，不見飲食，皮骨連立。目連悲哀，即以鉢盛飯，往餉其母，母得鉢飯，即以左手障鉢，右手搏食，食未入口，化成火炭，遂不得食。目連大叫，悲號涕泣，馳還白佛，具陳如此。

佛言：「汝母罪根深結，非汝一人力所奈何。汝雖孝順，聲動天地、天神地祇、邪魔外道、道士四天王神，亦不能奈何。當須十方眾僧威神之力乃得解脫。吾今當說救濟之法，令一切難皆離憂苦。」

佛告目連：「十方眾生，七月十五日，僧自恣時，當為七世父母及現在父母厄難中者，具飯、百味五果、汲灌盆器、香油錠燭、床敷臥具、盡世甘美以著盆中，供養十方大德眾僧。當此之日，一切聖眾，或在山間禪定、或得四道果、或在樹下經行、或六通自在教化聲聞緣覺、或十地菩薩大人，權現比丘，在大眾中，皆同一心，受鉢和羅飯，具清淨戒，聖眾之道，其德汪洋。其有供養此等自恣僧者，現世父母、六親眷屬，得出三塗之苦，應時解脫，衣食自然；若父母現在者，福樂百年；若七世父母生天，自在化生，入天華光。」

時佛敕十方眾僧，皆先為施主家咒願，願七世父母行禪定意，然後受食。初受食時，先安在佛前，塔寺中佛前，眾僧咒願竟，便自受食。

時目連比丘及大菩薩眾皆大歡喜，目連悲啼泣聲釋然除滅。

時目連母即於是日，得脫一劫餓鬼之苦。

目連復白佛言：「弟子所生母，得蒙三寶功德之力，眾僧威神力故。若未來世，一切佛弟子，亦應奉盂蘭盆，救度現在父母，乃至七世父母，可為爾否？」

佛言：「大善快問！我正欲說，汝今復問。善男子！若比丘比丘尼、國王太子、大臣宰相、三公百官、萬民庶人，行慈孝者，皆應先為所生現在父母、過去七世父母，於七月十五日，佛歡喜日，僧自恣日，以百味飯食，安盂蘭盆中，施十方自恣僧，願使現在父母，壽命百年無病、無一切苦惱之患，乃至七世父母離惡鬼苦，生人天中，福樂無極。是佛弟子修孝順者，應念念中，常憶父母，乃至七世父母。年年七月十五日，常以孝慈，憶所生父母，為作盂蘭盆，施佛及僧，以報父母長養慈愛之恩。若一切佛弟子，應常奉持是法。」

時目連比丘、四輩弟子，歡喜奉行。

迴向文
願以此功德 莊嚴佛淨土 上報四重恩 下濟三塗苦
普願盡法界 沈溺諸有情 悉發菩提心 盡此一報身
同生極樂國

輸入者：閻學新

BIOGRAFI PENULIS

Data Diri

Nama Lengkap : Sherny Wijaya
Tempat Lahir : Bandung, Jawa Barat, Indonesia
Tanggal Lahir : 1 Agustus 1989
Jenis Kelamin : Perempuan
Agama : Buddha
Status : Belum menikah
Telepon : (022) 603 6066/ 081 3211 80738
Alamat Tinggal : Jalan Andir Kompleks Lugina no. 9, Bandung, Jawa Barat,
Indonesia

Riwayat Pendidikan

2010-sekarang Akademi Bahasa Asing Internasional, Program D-3 Sastra
Jurusan Sastra Mandarin, Bandung
2007-sekarang Universitas Kristen Maranatha, Program S-1 Sastra Jurusan
Sastra Jepang, Bandung
2004-2007 SMAK 1 BPK Penabur Bandung
2001-2004 SLTPK 5 BPK Penabur Bandung
1995-2001 SDK 1 BPK Penabur Bandung